

D) 情報収集に努める種類

デリス

マメ科 *Derris elliptica*

原産地：東南アジア

特徴

大型のつる性木本。根を殺虫剤や魚毒に利用するほか、つるを編んでかご等をつくるため、各地で植えられた。

葉：4～6対の小葉で1枚の葉を構成する。小葉は長楕円形～へら形で褐色の毛が生える。小葉の長さは10～25cm程度。

花：初夏にマメ科らしい形で桃色の花がまとまって咲く。

繁殖：種子繁殖によって増えるほか、茎の断片から成長する栄養繁殖も行う。



影響：林縁の樹木によじ登るようにして生育することから、在来種の被覆による在来植生の衰退が懸念される。

侵入状況：集落周辺を中心に侵入が確認されている。

防除のコツ：茎の断片からも生育するため、根から丁寧に除去する必要がある。